

History of the Deities.

Kanegasaki-no miya Echizen Prov.

Prunenaga Shuino.

Takanaga Shuino.

官幣中社金崎宮祭神

越前國

尊良親王

尊良親王は後醍醐天皇の長子なり。建武二年足利尊氏反す勅して尊良を以て東國管領として之を討たしむ新田義貞之に副たり。迎へ之を各皇太子恒良を輔けて越前金崎城を守る賊攻むる甚だ急なり。明年春城陥るんとして親王自殺せられたり。天日本史

恒良親王

恒良は後醍醐帝の六子なり。初め親王となる。元弘元年帝六波羅に幽せらる時に恒良甫めて八歳賊其初なるを以て之を藤原宣明の宅に居る。建武元年立て、皇太子とす。迎へ元年帝足利尊氏と和し延暦寺より京師へ還り恒良をして越前に赴き北國を経畧せしむ。新田義貞軍事を總べて金崎城に據る。甲斐城陥り恒長執へらる恒良を京師に護せしめ。延元三年毒菜を飲んで薨す時に年十五。天日本史

(Taken from the Dai Nihonshi)

年毒菜と焼く可敷中朝ニ年十五
 天日本史
 尊身焼ハ之と尊身と京相ニ麴
 世一也又三
 美真軍車と飲之了金龍城ニ蘇
 中書城既了
 身と了了城前ニ城古北園古我
 界世了了操田
 帝足何藥力と味了遊觀寺也
 一京相ニ鬚ニ
 二母一也
 書是了了
 皇太子了了
 又了了
 羊
 了ハ焼類其味也了了
 又了了
 蘇原宣明也
 了以了羊車六支四縣ニ出
 せと
 朝ニ尊身浦也
 尊身ハ蘇賜賜帝の六七也了
 了了
 蘇王了了

尊身蘇王

了了了
 蘇王自蘇せと本了了
 天日本史
 了了了
 類也了
 甚た急也了
 所羊春城
 了了了
 燒前金龍城
 了了了
 言た了了
 操田美真之
 二隔也了
 了了了
 東園管
 了了了
 尊身蘇王
 了了了
 蘇王

蘇王

燒前園

Handwritten note at the bottom left.

Handwritten notes at the top of the page.